

---

# GXP3140 設定マニュアル

---

Ver2.0.6 2017/07/20 更新  
Ver2.0.5 2017/07/14 更新  
Ver2.0.4 2016/07/27 更新  
Ver2.0.3 2016/02/16 更新



# はじめに

---

このたびは、GXV3140をお買い上げいただき誠にありがとうございます。  
ご使用前には、本書を必ずお読みください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

## ■ 免責事項

- ・ 機能・仕様については予告なく変更する事があります。
- ・ お客様及び当社のネットワーク環境により、ノイズ・音の途切れ・不通などの現象が起こる事があります。また、通話品質の保証はいたしません。
- ・ 個人の聴力により通話品質に差が生じた場合について、当社は一切の責任を負いません。
- ・ 日本国外でのご使用に際する障害について、当社は一切の責任を負いません。
- ・ GXV3140は定期的なサーバメンテナンスを行うため、事前の告知なく一時的にサービスが停止する場合があります。
- ・ 商品の故障、誤動作などの要因で電話が使えなかった事による付随的障害については、当社は一切その責任を負いません。

## ■ お手入れ

柔らかい乾いた布で拭いてください。ぬれた雑巾は使用しないでください。ベンジン・シンナーなどの揮発性の薬品は本体を傷めますので、使用しないでください。科学雑巾をご使用になる時は、科学雑巾に添付の注意書をよくお読みください。

## ● 接続方法

1. 本体と受話器を受話器コードでつなげる
2. イーサネットケーブルを本体後側の「NETWORK」とブロードバンドルーターに差し込む
3. ACアダプタに取り付け、コンセントに差し込む
4. ACアダプタを本体に差し込む

※ 接続の順番は必ず守ってください。ケーブル、アダプタは確実に差し込んでください。接続してから通話ができるまでには数分かかりますので、しばらくお待ちください。

※ 必ずGXV3140本体後側の「NETWORK」に、ルーターからのイーサネットケーブルを接続します。本体後側の「PC」は、PC等接続しますと、GXV3140を通してネットワークに接続する事が可能です。

## ● GXV3140とは

GXV3140とは、弊社サービスにてお使いいただける電話機です。一般加入電話としてはご利用できません。本製品をご利用いただくためには、インターネットサービスプロバイダーに加入しておく必要があります。ご利用のモデムにブロードバンドルーター機能がない方は、別途ブロードバンドルーターが必要となります。

## 設定方法

---

### ●GXV3140本体のIPアドレスの確認

ホーム画面にIPアドレスが表示されていない場合、画面下のF2(画面切り替え)キーを2回押下してホーム画面を切替えます。ホーム画面左側「IP: 192.168.XX.XX」を確認します。

### ●設定ページの開き方

GXV3140と同じネットワークに接続されたPCから、インターネットエクスプローラー等webブラウザを起動し、先ほど確認したIPアドレスを、以下のように打ち込みます。

http://(IPアドレス)/ 例: 192.168.001.002だったら、<http://192.168.1.2/>



上記画面が表示されますので、Usernameに「admin」Passwordに「admin」と入力してLoginします。

**※不正ログインを防止するため、ログイン後必ず任意のユーザ名にパスワードに変更してください。**

**弊社にて設定出荷した機器のデフォルトパスワードは機器に同梱いたしております。**

**変更方法が不明な場合、弊社へお問い合わせください。**

# 設定方法

画面上部「Account1」タブをクリックします。

## 「General Settings」の設定

Field	Value
Account Active	<input checked="" type="checkbox"/> Yes
Account Name	ディスプレイ表示名
SIP Server	ログインサーバー:25060
SIP User ID	ユニーク
Authenticate ID	ユニーク
Authenticate Password	パスワード
Voice Mail UserID	999
Name	
Tel URI	User=Phone

Account Name : デisplayにdisplayさせたい任意の文字を入力してください。

SIP Server : お客様管理ページに記載されているログインサーバーを入力し、その後ろに":25060"と入力します。

※管理ページに記載されているログインサーバーがvoip3XXXの場合は、ログインサーバーの後ろの":25060"は入力しないでください。

SIP User ID : ユニークを入力してください。

Authenticate ID : ユニークを入力してください。

Voice Mail UserID : 999を入力してください。

Tel URI : 初期「Disable」から「User=Phone」へ変更してください。

変更終了後、ページ最下部の「Save」をクリックしてください。

## 「SIP Settings」設定

Field	Value
SIP Registration	<input checked="" type="checkbox"/> Yes
Unregister On Reboot	<input checked="" type="checkbox"/> Yes
Register Expiration (m)	240
Wait Time Retry Registration (s)	20
Local SIP Port	50000~60000
SUBSCRIBE for MWI	<input type="checkbox"/> Yes
Session Expiration (s)	180
Min-SE (s)	90
UAC Specify Refresher	Omit
UAS Specify Refresher	UAC
Force INVITE	<input checked="" type="checkbox"/> Yes

Register Expiration (m) : 「240」に変更してください。

Local SIP port: に50000~60000のいずれかの数字を入力します。

※重複の無いように、各端末毎に異なるポート番号を割り当ててください。例: 端末Aには50000、端末Bには50001

## 「SIP Settings」設定

Force INVITE :	<input type="checkbox"/> Yes
Caller Request Timer :	<input type="checkbox"/> Yes
Callee Request Timer :	<input type="checkbox"/> Yes
Force Timer :	<input type="checkbox"/> Yes
Enable 100rel :	<input type="checkbox"/> Yes
Use Privacy Header :	Default <input type="button" value="v"/>
Use P-Preferred-Identity Header :	Default <input type="button" value="v"/>
SIP Transport :	UDP <input type="button" value="v"/>
Symmetric RTP :	<input checked="" type="checkbox"/> Yes
Support SIP Instance ID :	<input checked="" type="checkbox"/> Yes
Validate Incoming SIP Messages :	<input type="checkbox"/> Yes
Check SIP User ID for Incoming INVITE :	<input checked="" type="checkbox"/> Yes
Authenticate Incoming INVITE :	<input type="checkbox"/> Yes
Only Accept SIP Requests from Known Servers :	<input type="checkbox"/> Yes
SIP T1 Timeout :	0.5 sec <input type="button" value="v"/>
SIP T2 Interval :	4 sec <input type="button" value="v"/>
Remove OBP from route :	<input type="checkbox"/> Yes
Omit Charset Attribute in SIP Message :	<input type="checkbox"/> Yes

Check SIP User ID for Incoming INVITE: 「YES」にチェックを入れてください。  
※端末に直接迷惑電話などが着信するのを防止します。

変更終了後、ページ最下部の「Save」をクリックしてください。

## 「codec settings」設定

**DTMF :**  In audio  RFC2833  SIP INFO

**DTMF Payload Type :** 101

**Preferred Vocoder :**

Available		Selected
PCMA	↑	PCMU
G722	↑	
G723.1	↑	
G729A/B	↑	
G726-32	↑	
CSM	↑	
L16-256	↑	

**Preferred Video Codec :**

Available		Selected
H263	↑	H264
H263+	↑	

**Enable RFC5168 support :**  Yes

**H.264 Image Size :** QVGA

**H.264 Payload Type :** 99

**H.263+ Payload Type :** 100

**L16-256 Payload Type :** 98

**H.263 Encoder Resolution :**  CIF  QCIF

**SRTP Mode :** Disable

**Silence Suppression :**  Yes

**Voice Frames Per TX :** 2

**G723 Rate :** 5.3kpbs encoding rate

**Jitter Buffer Type :** Adaptive

**Jitter Buffer Length :** Medium

**Send Silent RTP Packets on Mute :**  Yes

**Save** **Cancel**

DTMF: **RFC2833** を選択します。

※ユニーク管理ページでDTMF送信方法をDTMF Inbandに設定された場合は「in-audio」を選択してください。

Preferred Vocoder: **PCMU** のみを Selected に移動させます。

※PCMU以外のコーデックを使用する場合は、PCMUを Available に移動させ、使用するコーデックだけを Selected に移動させてください。

# 設定方法

## 「Call Settings」の設定

Status	Account 1	Account 2	Account 3	Advanced Setting	Maintenance	Application Setting
General Settings						
Network Settings						
SIP Settings						
Codec Settings						
<b>Call Settings</b>						
Dial Plan Prefix :						
DialPlan :				{ x+ }		
Early Dial :				<input type="checkbox"/> Yes		
Refer-To Use Target Contact :				<input type="checkbox"/> Yes		
Auto Answer :				No		
Send Anonymous :				<input type="checkbox"/> Yes		
Anonymous Call Rejection :				<input type="checkbox"/> Yes		
Call Log :				Log All		
Special Feature :				Standard		
Feature Key Synchronization :				Disable		
Enable Call Features :				<input checked="" type="checkbox"/> Yes		
Call Forward Unconditional :						

DialPlan : 「 { x+ } 」に変更してください。  
変更終了後、ページ最下部の「Save」をクリックしてください。  
画面上部「Advanced setting」タブをクリックします。

## 「Call Settings」の設定

Status	Account 1	Account 2	Account 3	Advanced Setting	Maintenance	Application Setting
General Settings						
<b>Call Features</b>						
Video Settings						
Ring Tone						
Disable Call-Waiting :				<input checked="" type="checkbox"/> Yes ※		
Disable Call-Waiting Tone :				<input checked="" type="checkbox"/> Yes		
Disable DND Reminder Ring :				<input type="checkbox"/> Yes		
Disable Direct IP Call :				<input type="checkbox"/> Yes		
Escape '#' as %23 in SIP URI :				<input checked="" type="checkbox"/> Yes		
Offhook Auto Dial :						
Mobotix features						
Enable softkey customize :				<input type="radio"/> Enable <input checked="" type="radio"/> Disable		
F1 softkey Mode :				None		
F2 softkey Mode :				None		
F3 softkey Mode :				None		
F4 softkey Mode :				None		
Save						
Cancel						

- ※「Disable Call-Waiting」  
チェック無:通話中に着信があった場合、新たに掛けてきた相手に呼び出しを通知します。  
チェック有:通話中に着信があった場合、新たに掛けてきた相手に話中を通知します。
- ※「Disable Call-Waiting Tone」(Disable Call-Waitingにチェックが無の場合のみ有効)  
チェック無:音で通知するします。  
チェック有:音で通知無しとします。

変更終了後、ページ最下部の「Save」をクリックしてください。

# 設定方法

## 「Video Settings」の設定

Enable Motion Detection :  Yes にチェックを入れます。

Video Frame Rate : 30frames/secondに変更して下さい。

Video Bit Rate : 256kbpsに変更して下さい。

Video Rate Control : Frame にします。

変更終了後、ページ最下部の「Save」をクリックして下さい。

画面上部「Maintenance」タブをクリックします。



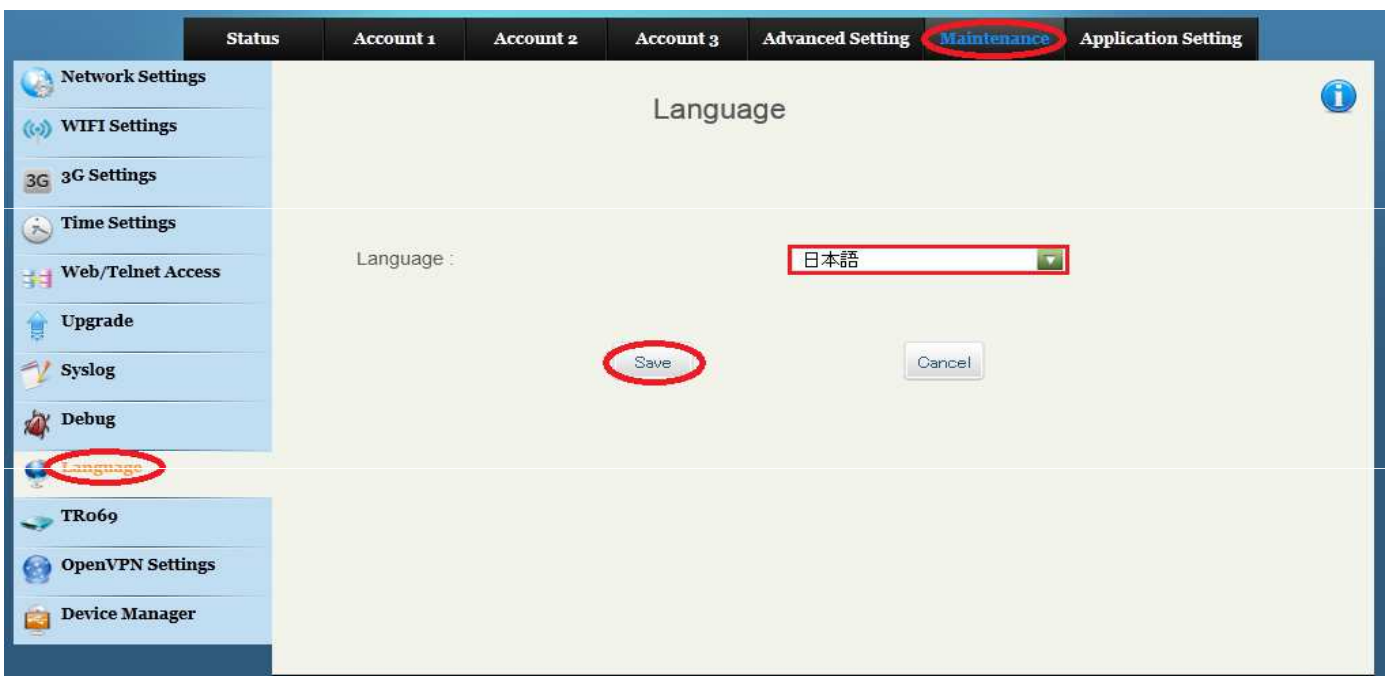
# 設定方法

## 「Time Settings」の設定

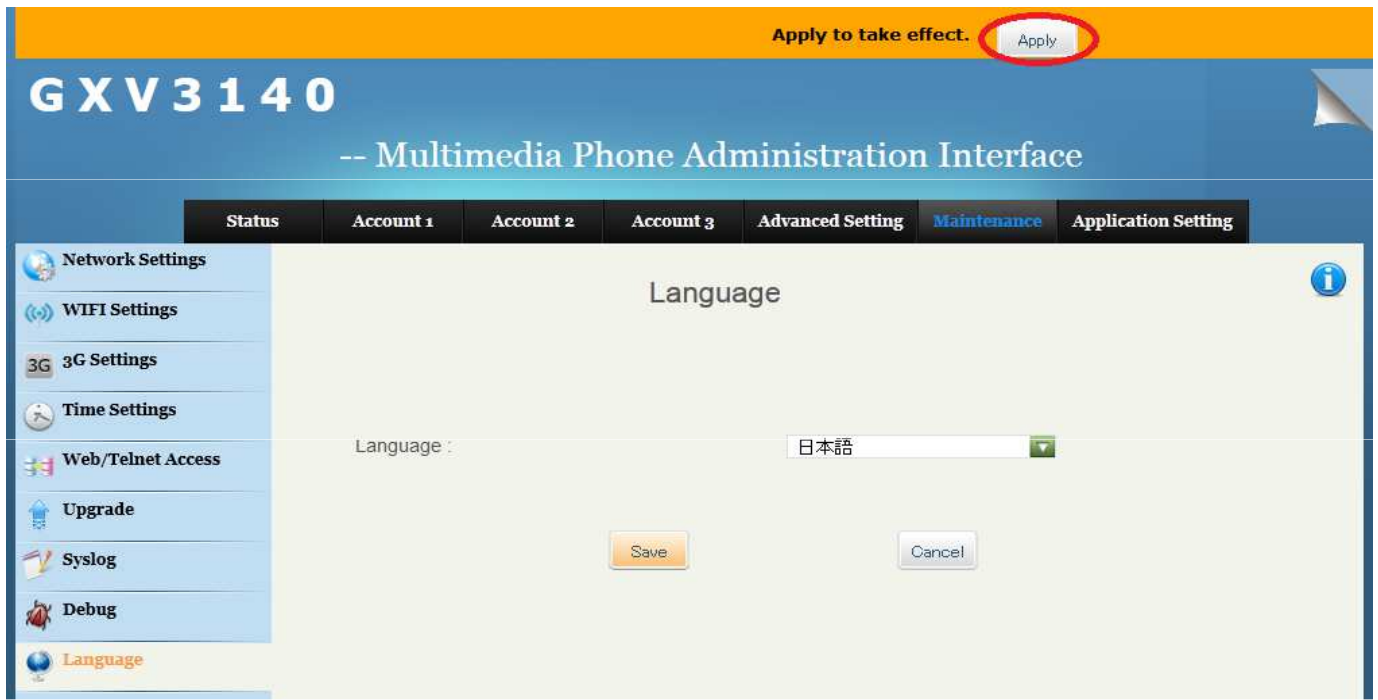


NTP Server : 「ntp.jst.mfeed.ad.jp」と入力してください。  
Date Display Format : YY-MM-DD(西暦-月日-時間)任意設定です。  
変更終了後、ページ最下部の「Save」をクリックしてください。

## 「Language」の設定



Language : 日本語に変更してください。  
変更終了後、ページ最下部の「Save」をクリックしてください。



全ての設定が終わりましたら、画面上部の「Apply」をクリックしてください。  
再起動がかかり端末の設定が完了します。

# レジストの確認

## レジスト(登録)状態の確認方法

webブラウザから、お客様管理ページを開きます。  
画面上部の「各種設定」から「ユニーク一覧」をクリックします。

解約	解約	詳細	ユニーク▲▼	状態 ?	名称▲▼	所属▲▼	ピックアップグループ	着信			発信			U種別 ▲▼	備考
								内線	電話番号	種別	内線	電話番号	種別		
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		0000888888	✓			Default	200	-	-	200	-	-		
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		0000999999	✗			Default	201	-	-	201	-	-		

上のような画面が表示されるので、対象ユニークの「状態」のマークを確認します。



…レジスト(登録)ができています。



…レジスト(登録)が失敗しています。クリックすると失敗のステータスを確認することができます。

レジストができていた状態になったら、設定完了になります。

※レジストが失敗している場合、以下の内容をご確認ください。

- ・入力したユニーク、端末パスワード、ログインサーバー等に間違いがないかご確認ください。
- ・お客様のネットワーク環境をご確認ください。
- ・お客様環境によってはルータのUPnPや、SIP-NAT等、SIPメッセージを書き換える機能をオフにしないと正常に動作しない場合がございます。
- ・ルータやファイアウォールにおいてフィルタリングを実施している場合には、弊社側ログインサーバとの通信を許可する必要があります。

# ファームウェアのアップグレード方法

## ファームウェアアップグレードの設定(任意)

画面上部「Maintenance」タブをクリックします。  
画面左部「Upgrade」をクリックします。

Upgrade

\* Lock Keypad for Update :  Yes

\* XML Config File Password :

\* HTTP/HTTPS User Name :

\* HTTP/HTTPS Password :

\* Upgrade Via : HTTP

Firmware Server Path : fw.ipvideotalk.com/gs

Config Server Path : fm.grandstream.com/gs

\* Firmware File Prefix :

\* Firmware File Postfix :

\* Config File Prefix :

\* Config File Postfix :

\* DHCP Option 66 Override Server :  Yes

\* DHCP Option 120 Override SIP Server :  Yes

\* Automatic Upgrade : Check Every Week

\* Automatic Upgrade Check Interval (m) : 10080

\* Hour of the Day(0-23) : 14

\* Day of the Week(0-6) : 1

\* Automatic Upgrade Rule : Always Check at bootup

Authenticate Conf File :  Yes

Factory Reset : Full Reset

Upgrade Via : HTTPに変更してください。

Firmware Server Path : fw.ipvideotalk.com/gsに変更してください。

Automatic Upgrade : Check Every Weekに変更してください。

Automatic Upgrade Check Interval(m) : 10080に変更してください。

Automatic Upgrade Rule : Always Check at bootupに変更してください。

入力が終わりましたら最下部の「Save」をクリックして再起動してください。

※ファームウェアのアップデートには数分かかりますので、電源の抜き差しや端末の操作等はお控えください。  
アップデートがうまくいかない場合は、一度初期化してから再度アップデートをかけてください。


## ビデオ電話の三者通話

GXP3140はビデオ電話の三者通話をサポートしています。

最初に二者通話でビデオ通話を始めます。

### ●三者通話の開始

最初に電話をかけた人が、三人目に電話するために「Line (  )」ボタンを押下して最初の通話を保留状態にしてください。空いているラインを選択して三人目に電話します。


三人目が電話に応答した後に、「Conference(  )」ボタンを押下してください。

「Do you want to conference with line1?」のメッセージが表示されますので「はい」のSoft keyを押下します。


三者通話が開始されます。


### ●通話の終了

最初に電話をかけた人が電話を切ることにより通話が終了します。

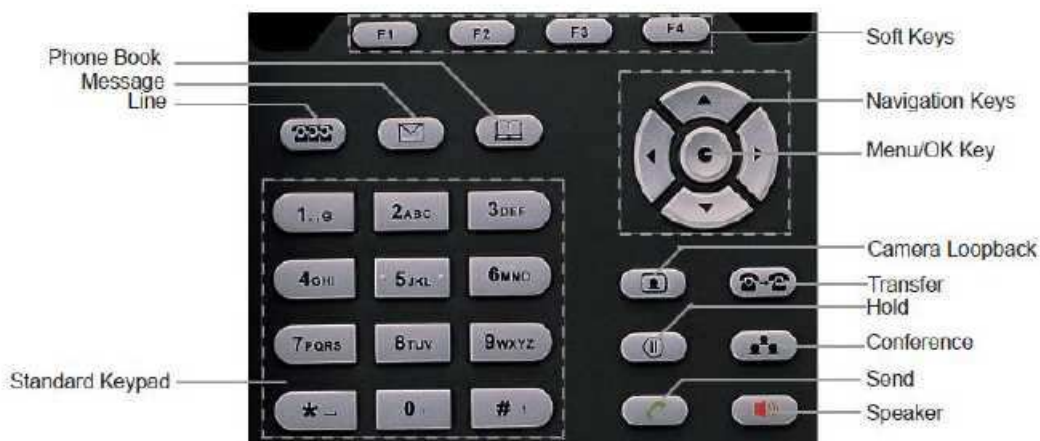
また「Hold(  )」ボタンを押して話したい相手のラインのSoft Keyを押すことにより三者通話が終了します。

### 【補足】

会議中に三者通話の為にビデオディスプレイのレイアウトを「Camera Loopback (  )」ボタンを押下することにより変更することが出来ます。



最初に電話をかけた人のみ「Conference(  )」ボタンを押下することにより通話相手の表示位置を入替えることができます。











## ※GXV3140 キーパット図










# 安全にお使い頂くために

本書では、製品を安全にお使いいただくための注意事項を次のように記載しています。  
 注意事項を守っていただけない場合、どの程度の影響があるかを表しています。

 警告	この表示の注意事項を無視して誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示の注意事項を無視して誤った取扱をすると、人が障害を負う可能性が想定される内容を示しています。

 警告	
	煙が出たり、変なおいがするときは電話機コードを抜く そのまま使用すると、火災や事故の原因となります。お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
	分解・改造しない 火災・感電・故障の原因となります。
	開口部から金属類を差し込んだり、落とし込んだりしない 万一、入った時は電話機のコードを抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。
	内部に水や異物を入れない 水や異物を入れると、火災・感電の原因となります。万一、水や異物が入った時は、電話機のコードを抜き、販売店に連絡してください。
	故障や異常状態のまま使用しない 火災・感電の原因となります。
	雷が発生したときは、本機に触れない 感電の原因となります。
	風呂やシャワー室では使用しない 火災・感電・故障の原因となります。
	本機の上や近くには水などの入った容器や小さな金属物を置かない こぼれたり、中に入ったりすると火災・感電・故障の原因となります。
	水などで濡らさない 本機は生活防水タイプではありません。万一、内部に水などが入った時は電話機のコードを抜いて販売店にご連絡ください。 そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。

 注意	
	調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気があたるところに置かない 火災・感電・故障の原因となることがあります。
	直射日光の当たるところに置かない 内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。
	湿気やほこりの多いところに置かない 火災・感電・故障の原因となることがあります。
	極端に寒いところや急激な温度変化のあるところに置かない 故障の原因となることがあります。
	不安定な場所や振動の多いところに置かない 落ちたり、倒れたりすると、けが・故障の原因となることがあります。
	受話器の受話部に吸着物がないか確認してから使う 受話器の受話部の磁石に、画鋲やピン、ホチキスなどの金属が付着し、思わぬけがをすることがあります。

## 故障かな？と思ったら

修理・交換を依頼する前にもう一度下記の表をご確認ください。

それでも具合の悪いときは、弊社まで、お問い合わせください。

症状	原因	処置
障害全般	電源ケーブルの抜き差しをお願いします。(数回行ってください) 電源ケーブルを抜いてから再度接続するまでは、1分以上お待ちください。 上記を行っていただいても改善されない場合は、弊社サポートまで、 ご利用のルーターのメーカー・名称・商品番号及びブロードバンド環境をご連絡ください。	
呼び出し音が鳴らない	イーサネットケーブルがはずれていませんか。	イーサネットケーブルの接続を確認してください。
	ACアダプタがはずれていませんか。	ACアダプタの接続を確認してください。
	呼び出し音量の設定を変更しましたか。	Volumeボタンで音量を調節してください。
	ディスプレイに表示される設定を変更しましたか。	変更した設定を元に戻すか、イーサネットケーブルを抜き差し(再起動)してください。
通話が途切れる ノイズが入る	ネットワーク環境に異常はありませんか。	ネットワーク環境を確認し、問題箇所を修復してください。